

授業改善書

科目名	保育相談支援
担当者	浜名真以

授業の概要

子育て問題のもっとも身近な存在である保育現場の社会的役割と機能を理解し、保護者や地域住民に対する支援としての保育相談支援の意義や在り方、取り組みについて学び、実際の相談場面において相談内容を詳細に捉え対応できる力を身につけることを目的として授業を行った。事例検討やロールプレイ、グループワークやそれらの発表といったアクティブラーニングを通して、保育相談支援の具体的な方法について指導を行った。

授業の問題点

質問や発言については、授業中に質問の時間を作る、コメントシートに質問や意見の欄を作るなどの対応をとっているものの、質問や発言をするのは決まった学生になりがちである。

配布資料が多い回では、資料を読むことで満足してしまい、メモをとることが少なくなりがちである。

学生の授業満足度

学生自身の学習態度、授業内容の評価、授業方法の評価、授業全体の評価については全ての項目がいずれのクラスでも4点台であり概ね満足のいく内容であったと思われる。

授業改善の課題と方策

より多くの予習や復習課題を設けて授業外学習を促す。

学生が質問をしやすいよう、質問をした学生や発言をした学生を褒めるなど、質問・発言しやすい雰囲気づくりに努める。

授業中にメモをとりやすいよう、メモ欄を設ける、大事なところはメモを取るよう促すなどの対応をとる。

その他

授業の後半で授業外課題が多かった。アンケートの実施時期が早かったため、「授業外学習をしましたか」の得点が低くなっていると考えられる。

「授業を円滑に進めるための配慮はなされていましたか(私語・携帯電話への注意など)」という項目があったが、学生が大変真面目に受講していたためこちらから注意する必要はほとんどなかった。